

# コミュニティ型クラウドソーシング

— 電子地域通貨との連携からその推進を図る —

*~ The Next Generation Development Academy ~*

## 【Team Member】

政策部行政経営課 中村俊介

くらし安心部防災課 土田健二

消防本部消防管理課 岡田卓磨



## Agenda

---

1. はじめに
2. 現状分析
3. 政策提言
4. ロードマップ



## Agenda

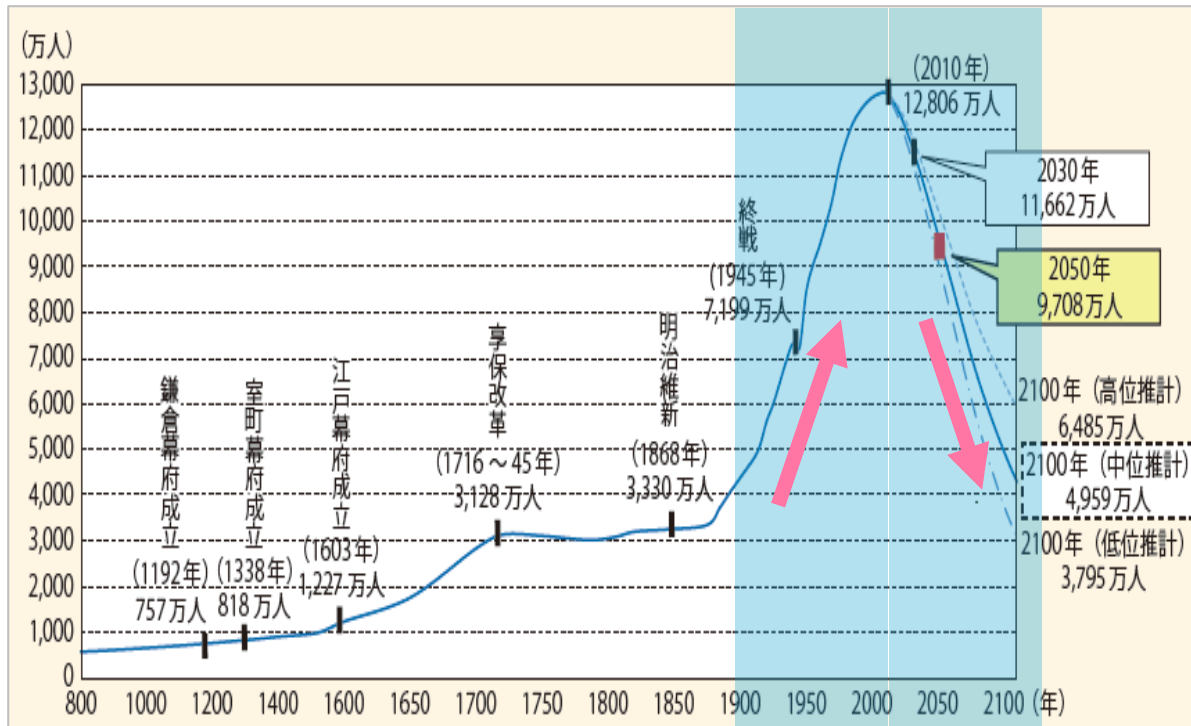
---

1. はじめに
2. 現状分析
3. 政策提言
4. ロードマップ

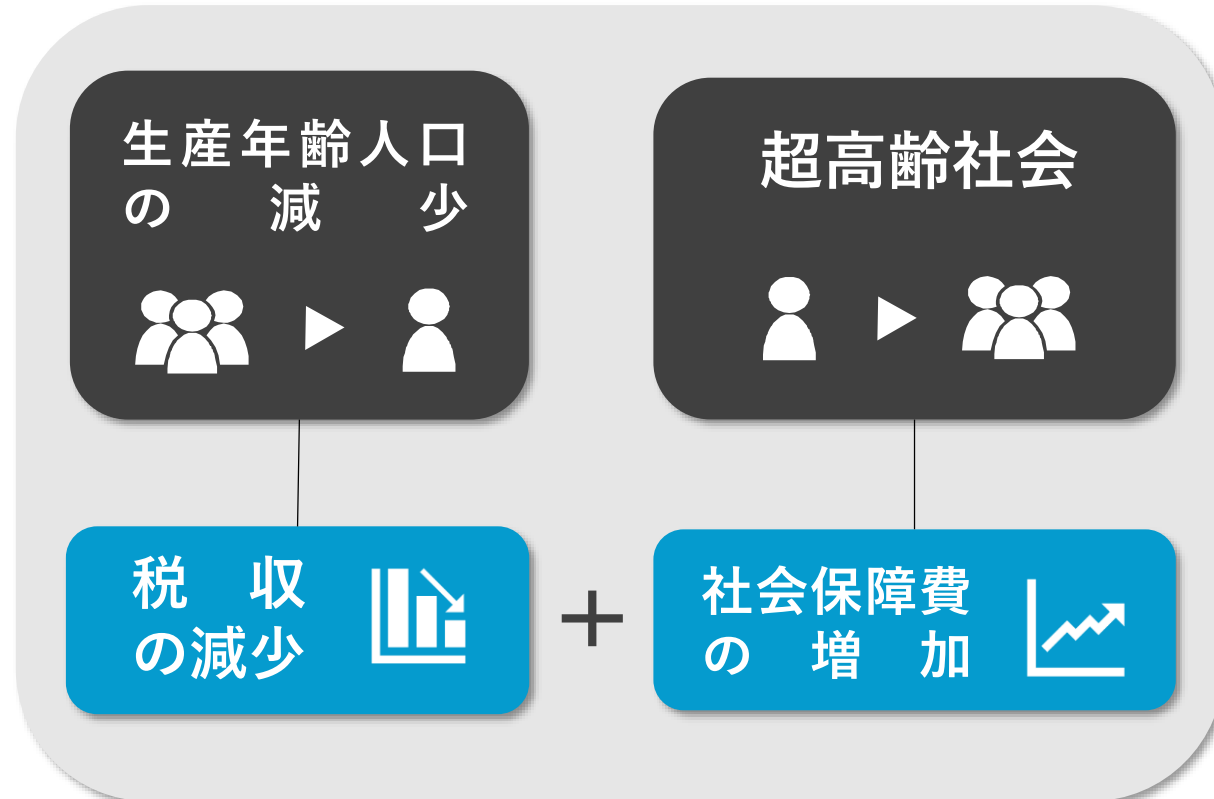
01

Introduction  
はじめに

- ・ 人口は今後100年のうちに、100年前と同じ水準に戻る見込み
- ・ 税収の減少、社会保障費の増加に十分に留意した運営が求められる。



出典：平成24年度国土交通白書



# 重点的に対応すべきことは・・・



人口減少問題の歯止め

+

人口減少社会への適切な対応



## Agenda

---

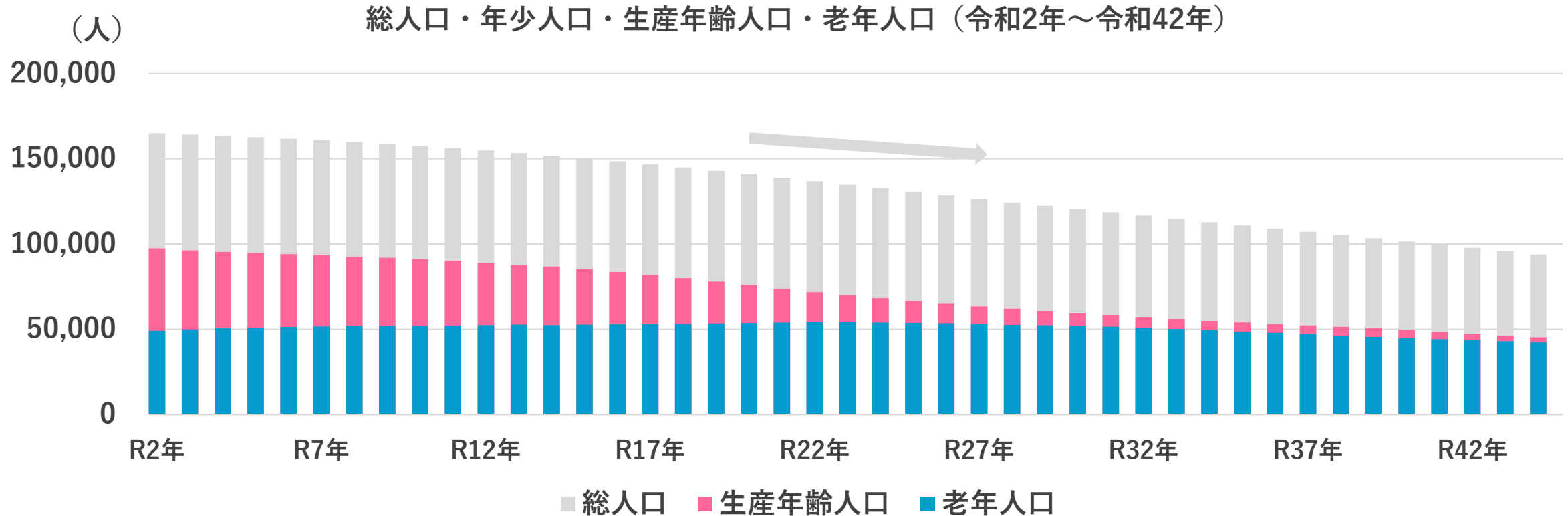
1. はじめに
2. 現状分析
3. 政策提言
4. ロードマップ

02

Current Situation Analysis  
現 狀 分 析



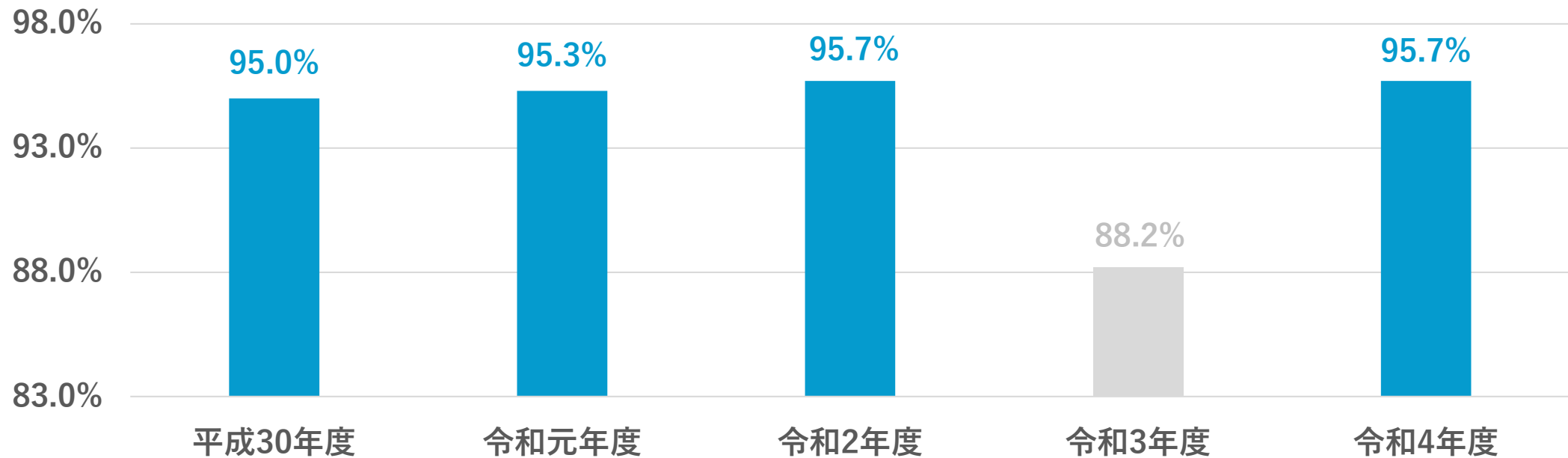
- ・ 少子化の流れの転換 ⇒ 子育て世帯への支援拡充
- ・ 人口の多くは高齢者 ⇒ 高齢者が生き生きと暮らす社会の実現



出典：秦野市人口ビジョン（令和3年3月改定）による趨勢人口に基づき計算

- ・ 現状は財政の硬直化（90%以上）の状況
- ・ 知恵と工夫、事業の掛け合わせ、特にデジタル化及び協働の観点

経常収支比率の推移



出典：秦野市決算資料

※令和3年度は、過去最高となった国税収入を背景として、普通交付税の再算定が行われ、令和3年度の臨時財政対策債を償還するための経費が追加交付されるなど、経常一般財源が大きく増加したため改善しているもの。

# モバイル社会白書 2023年版

株式会社NTTドコモ モバイル社会研究所

スマートフォン比率は



**96.3%**  
(2台目まで含む)

スマートフォン所有率

60代 約 **9割** → 地域差は少ない

▶ **デジタル化**

クラウド  
ソーシング

# クラウドソーシング（≡クラウドワーキング）：業務を依頼したい人と業務を請け負う人をオンライン上でマッチングするサービスのこと

10周年記念イベントで  
使うロゴマークを作れる  
方を探しています。

予算 10万円

納期 5日間



依頼

実績	60件
見積	3万円
納期	5日間

実績	100件
見積	5万円
納期	3日間

比較  
検討

- ・クラウドワーキング市場：今後1兆円規模にまで成長が期待
- ・クラウドワーキングサービス：78万の会社、480万人のユーザ登録

クラウドワーキング  
市場

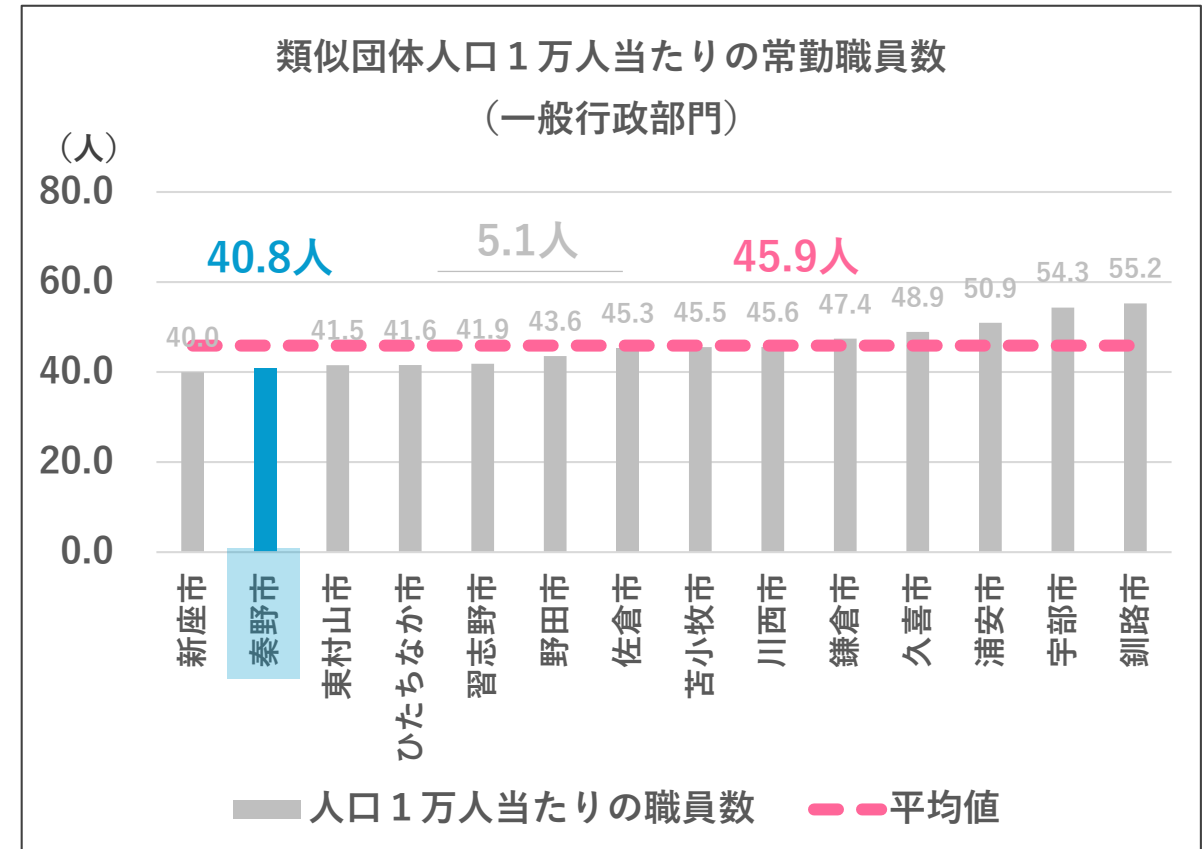
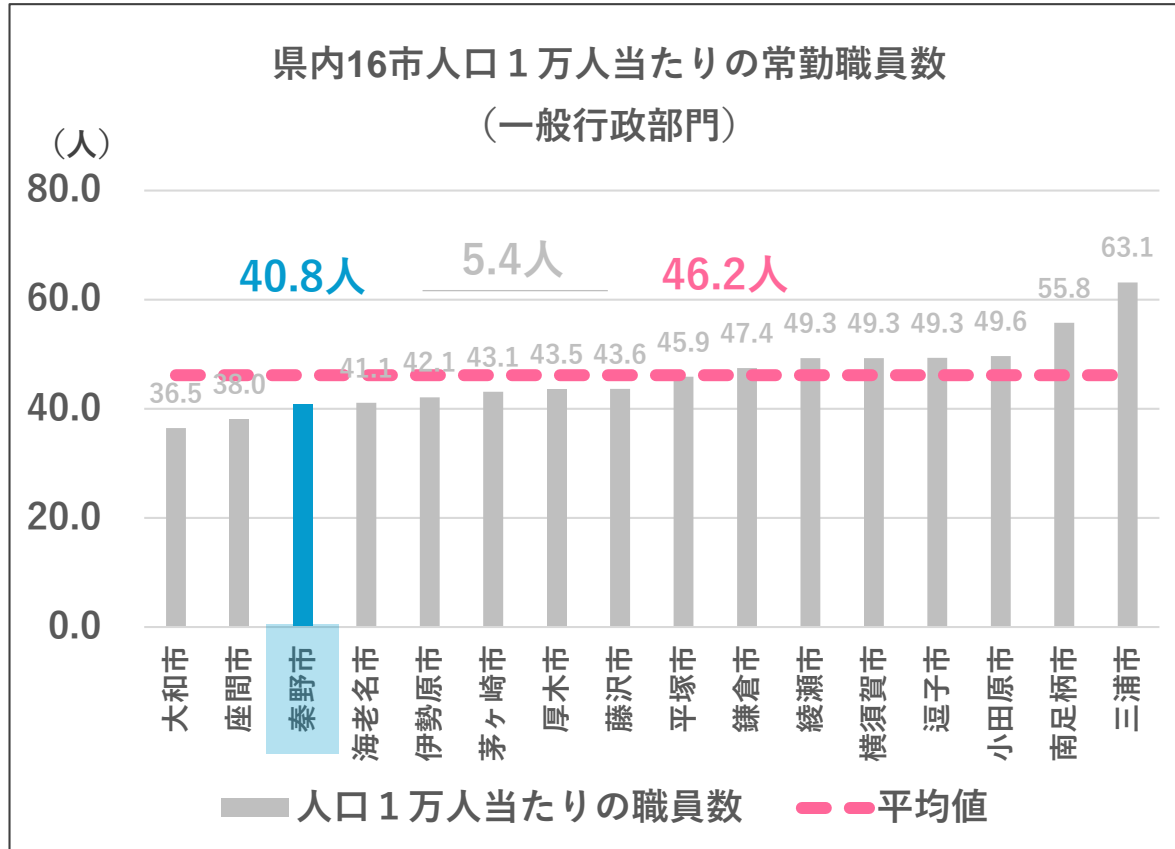


クラウドワーキング  
サービス



秦 野 市

地 域 型 へ  
転 換



出典：令和5年度定員管理分析

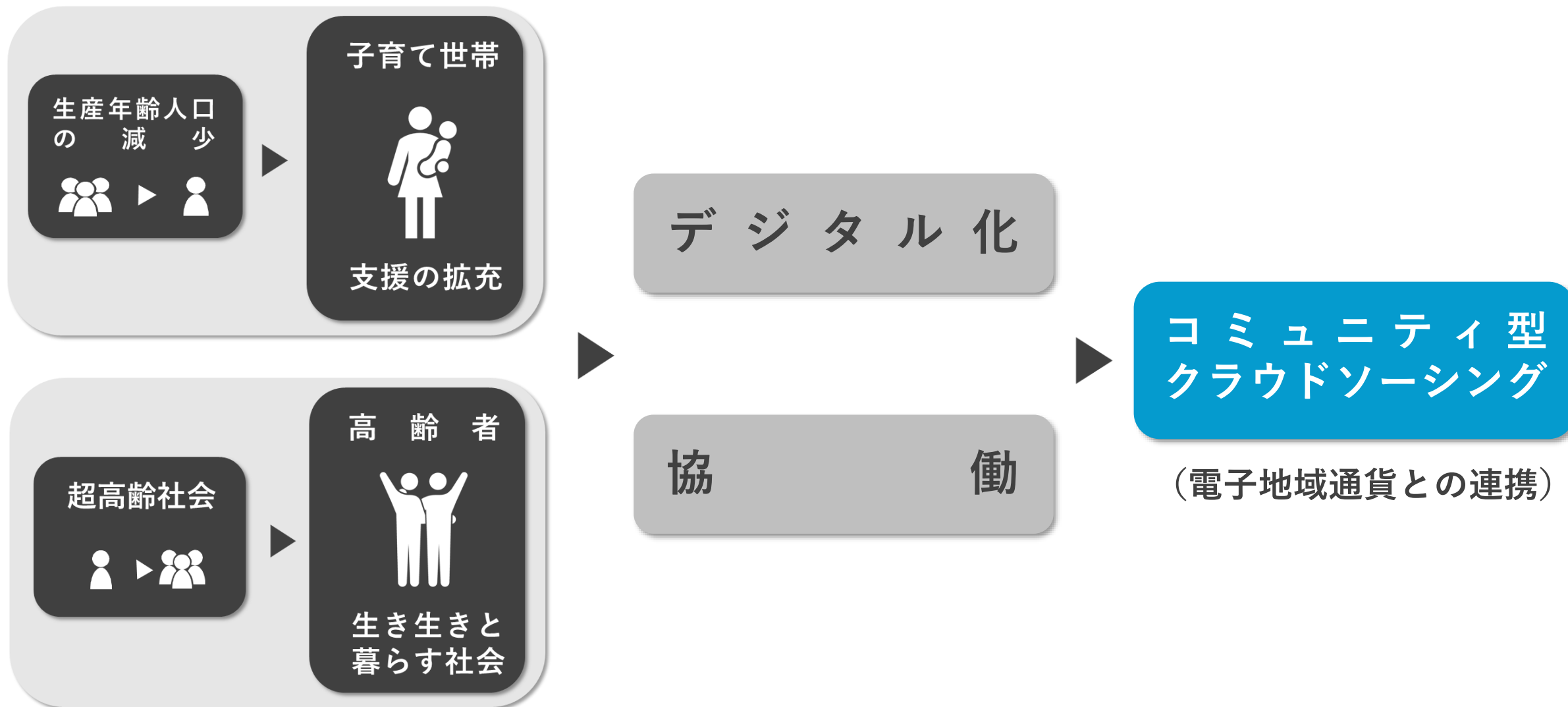
市民参加型のまちづくり



協働

電子地域通貨

( 継続性の確保 )





## Agenda

---

1. はじめに
2. 現状分析
3. 政策提言
4. ロードマップ

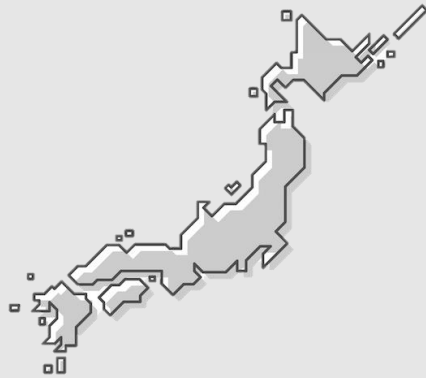


03

Policy Proposal  
政策提言

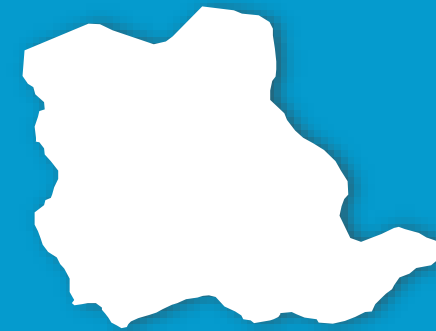
# コミュニティ型クラウドソーシング：市民が抱える困りごとを市民が解決する仕組みのこと

( 一般的 な )  
クラウドソーシング



全国区での展開

コミュニティ型  
クラウドソーシング



秦野市での展開

# コミュニティ型クラウドソーシング：令和5年（2023年）情報処理学会の研究論文からの引用

Miu Sento



仙頭 美卯 氏 (情報処理学会 学生会員)

和歌山大学システム工学部  
システム工学科卒業 (2022年)

Takuya Yoshihiro



吉寛 卓哉 氏 (情報処理学会 正会員)

和歌山大学システム工学部  
システム工学科 教授

電子地域通貨との  
連携を付与

情報処理学会論文誌 Vol.64 No.7 1153-1163 (July 2023)

## コミュニティ型クラウドソーシングにおける 行動経済学に基づいたタスク実行の動機付け効果

仙頭 美卯<sup>1</sup> 吉寛 卓哉<sup>2,\*</sup>

受付日 2022年8月23日, 採録日 2023年4月4日

概要：地方自治体において、市民の声を集めるアンケート調査をクラウドソーシングとして実施することで社会課題の解決や行政サービスの改善を目指す試みが行われている。しかし、このような仕組みが実際に活発に運用されている成功例は多くない。市民の参加を促すには動機付けが必要であり、単純で効果的な方法は報酬を支払うことであるが、地方自治体が多額の市民を継続的に参加させるほどの報酬の財源を確保することは困難である。本研究では、自治体を含む何らかのコミュニティ内を想定して実施するコミュニティ型クラウドソーシングにおいて、好意から生じるコミュニティへの貢献の気持ち、少額の報酬しか得られないタスクに対する動機付けを補い、少額の報酬であってもクラウドソーシングのサービスが成り立つのではないかと仮定した。本仮定に基づいて、行動経済学における動機付け効果を組み込んだクラウドソーシングフレームワークの設計を行い、実験によりその効果を検証した。具体的には、行動経済学において効果が認められている単純接触効果やイケア効果等によって、好意と少額の報酬が相補的な効果をもたらす可能性を検証した。実験の結果、これらの行動経済学に基づいた動機付けの仕組みにより、少額の報酬でも参加者のタスク実行を動機付けられる可能性を確認した。

キーワード：クラウドソーシング, 参加型センシング, シビックテック, 行動経済学, 内発的動機付け

## Motivation Effect Based on Behavioral Economics in Crowd Sourcing for Communities

MIU SENTO<sup>1</sup> TAKUYA YOSHIHIRO<sup>2,\*</sup>

Received: August 23, 2022, Accepted: April 4, 2023

**Abstract:** Local governments are attempting to solve social issues and improve administrative services by crowdsourcing surveys to collect citizens' opinions. However, there are not many successful examples of such mechanisms in active operation. Motivation is necessary to encourage citizen participation, and a simple and effective method is to pay rewards, but it is difficult for local governments to secure the financial resources to pay enough rewards to continuously involve a large number of citizens. In this paper, we hypothesize that, in the crowdsourcing within a community, positive feelings toward the community motivates people to contribute to the community by performing tasks even with small rewards, and that crowdsourcing services can be operated even with small rewards. Based on this hypothesis, we designed a crowdsourcing framework that incorporates the effects of motivation and attachment formation in behavioral economics, and tested its effectiveness through experiments. As a result of the experiment, we confirmed that these motivational mechanisms based on behavioral economics may promote participants' task execution even with small rewards.

**Keywords:** crowdsourcing, participatory sensing, civic tech, behavioral economics, intrinsic motivation

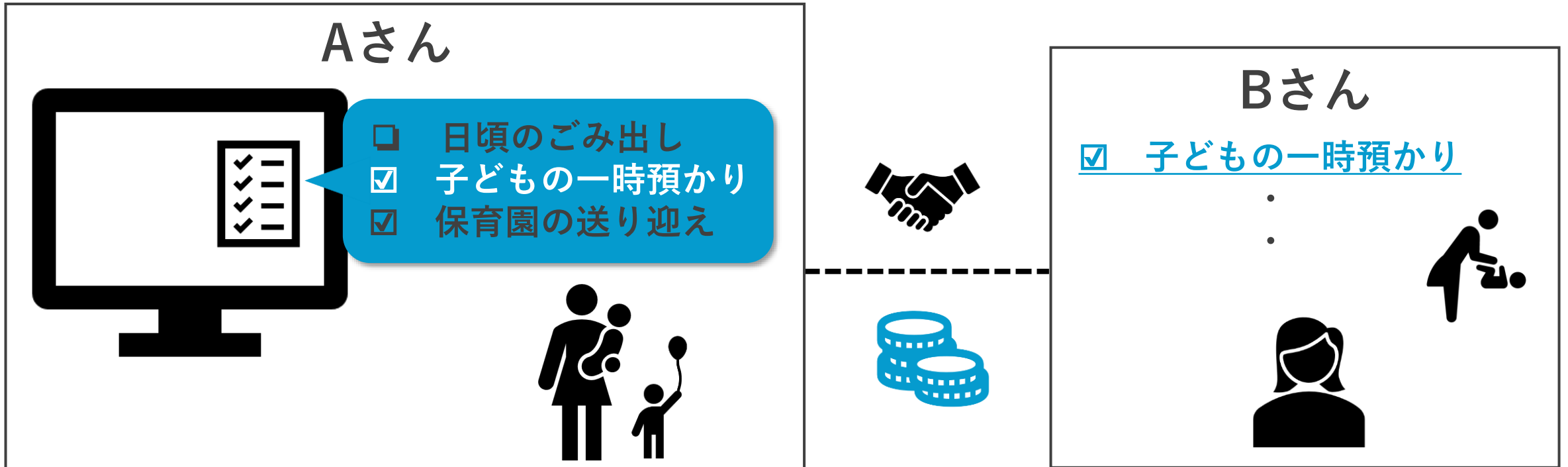
<sup>1</sup> 和歌山大学システム工学部  
1-1-1, Wakayama University, Wakayama, Japan  
E-mail: miu@sys.wakayama-u.ac.jp

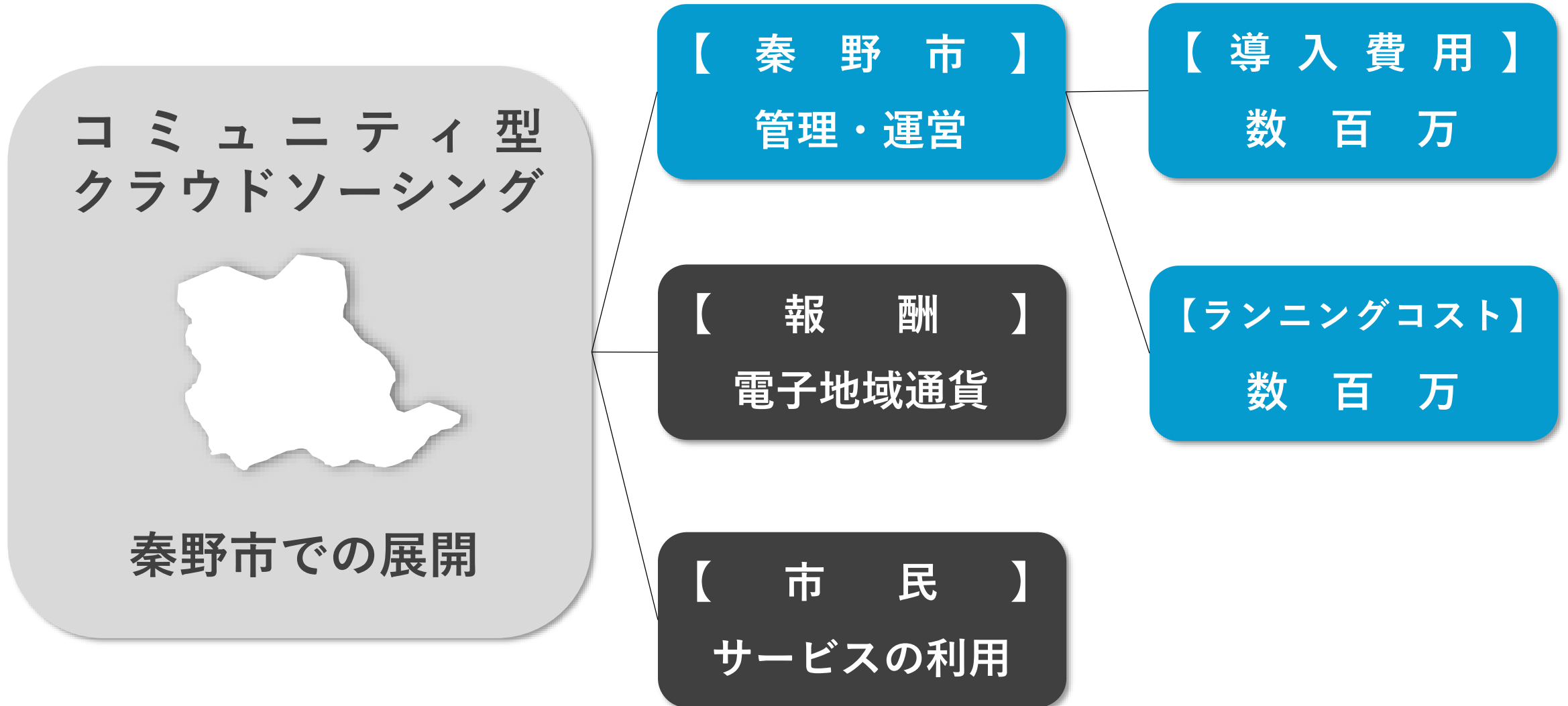
<sup>2</sup> 和歌山大学システム工学部  
1-1-1, Wakayama University, Wakayama, Japan  
E-mail: takuya@sys.wakayama-u.ac.jp

## 事例 1

Aさん (30歳・2児の母親・緑町在住)

Bさん (73歳・女性・緑町在住)

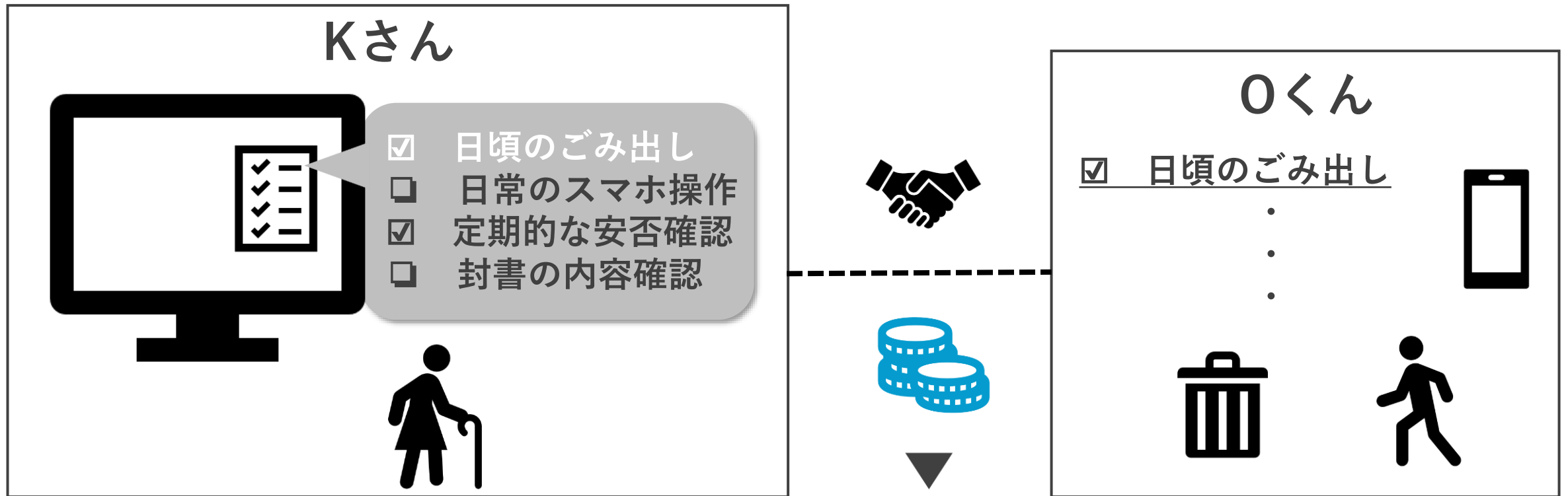




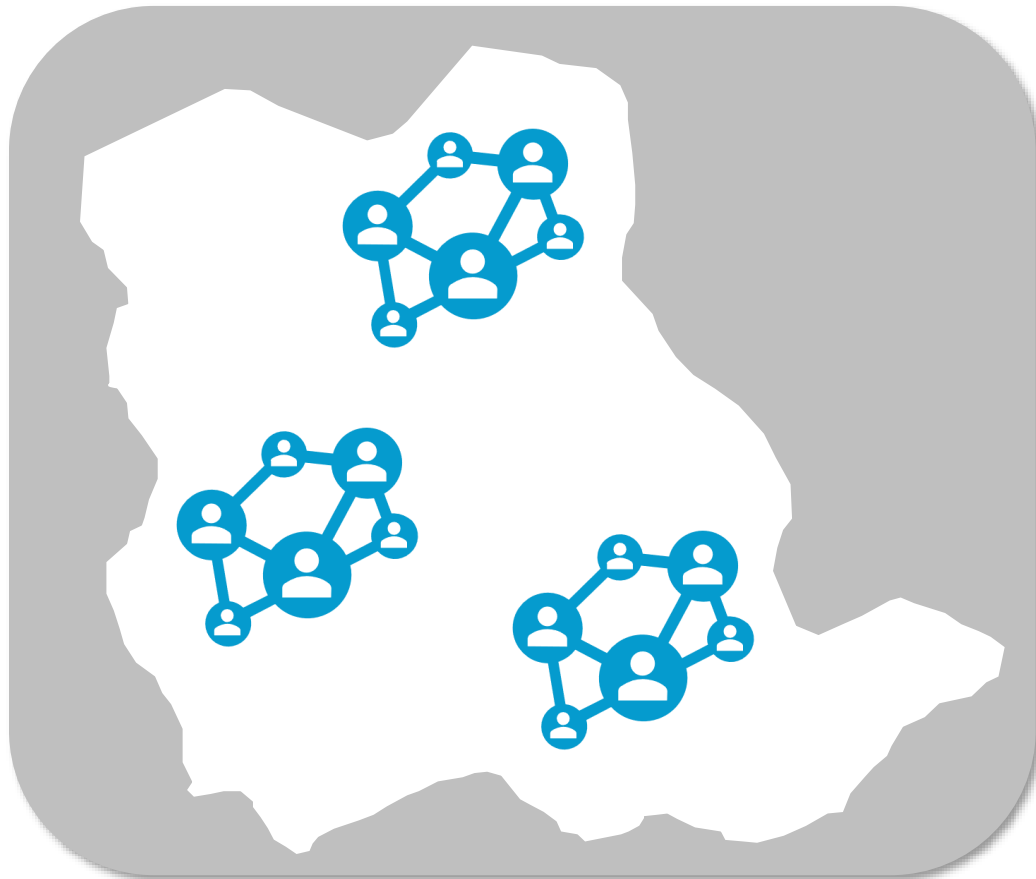
## 事例 2

Kさん (75歳・ひとり暮らし・女性・鶴巻南一丁目在住)

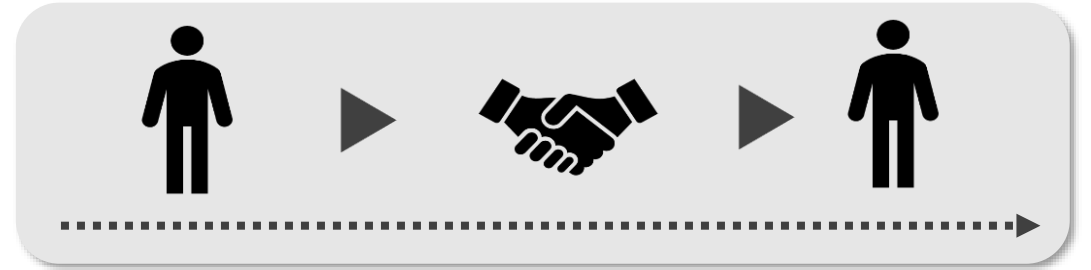
Oくん (18歳・高校生・男性・鶴巻南一丁目在住)



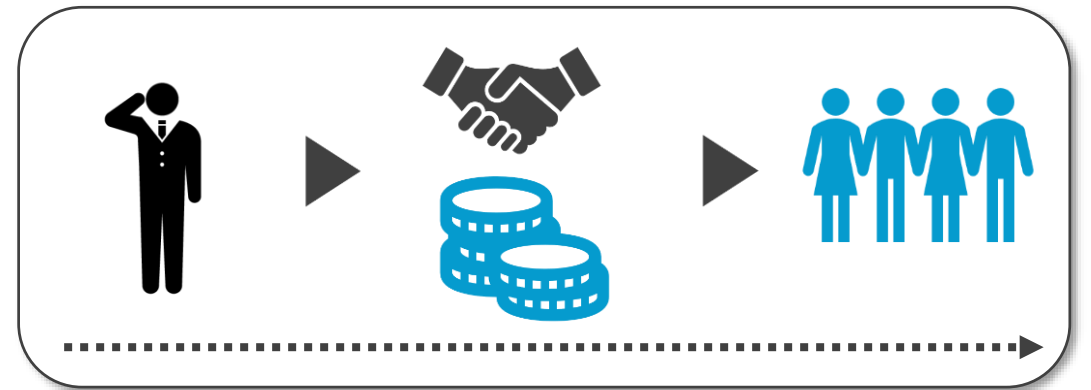
- ・ 人口減少社会への適切な対応
- ・ 地域コミュニティの再構築
- ・ 地域経済への波及効果



【無償】



【報酬あり】



報酬額：100円～1000円  
⇒市負担分：50円～500円

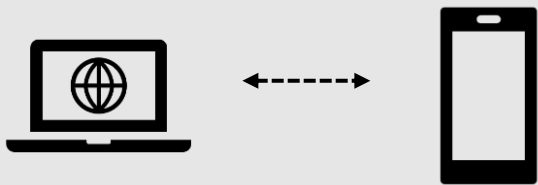


**数百万円**  
(市負担分)

# 一般的なクラウドソーシングとの差別化：地域とのつながりが加わること

(一般的な)  
クラウドソーシング

オンライン上で完結



≠

コミュニティ型  
クラウドソーシング

オンライン  
上で完結



+

地域との  
つながり





## 安定的な取組のため、「信用」と「評価」を付与

### 【信用】



登録時に本人確認  
書類の確認



業務を依頼した人が  
支援者を評価

### 【評価】



支援者をランキング化  
(ゴールド市民)



## Agenda

---

1. はじめに
2. 現状分析
3. 政策提言
4. ロードマップ

04

R o a d m a p  
ロードマップ

① 財源確保 (デジタル田園都市国家構想交付金 補助率1/2)



② ヒアリング (研究論文執筆者・クラウドワーキングサービス提供事業者)



③ サウンディング型市場調査 (民間事業者の意向、市場性に係る調査)



④ プロポーザル ⇒ サービス提供事業者の決定



⑤ システム稼働 ⇒ サービスの提供



秦野市

水とみどりに育まれ 誰もが輝く  
暮らしよい都市（まち）

ご清聴ありがとうございました